

子は親の鏡

けなされて育つと、子供は人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子供は乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子供も不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子供はみじめな気持ちになる

子供をバカにすると、引っ込み思案な子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子供も人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子供は「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子供は自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子供は明るい子に育つ

愛してあげれば、子供は人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子供は自分が好きになる

見つめてあげれば、子供はがんばり屋になる

分かち合うことを教えれば、子供は思いやりを学ぶ

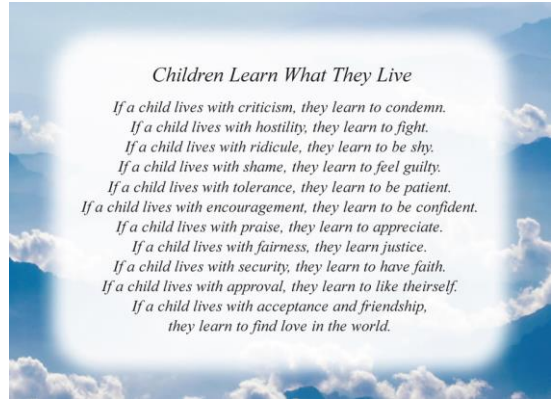
親が正直であれば、子供は正直であることの大切さを知る

子供に公平であれば、子供は正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりを持って育てれば、子供は優しい子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、

子供は、この世の中はいいところだと思えるようになる



Children Learn What They Live

If a child lives with criticism, they learn to condemn.
If a child lives with hostility, they learn to fight.
If a child lives with ridicule, they learn to be shy.
If a child lives with shame, they learn to feel guilty.
If a child lives with tolerance, they learn to be patient.
If a child lives with encouragement, they learn to be confident.
If a child lives with praise, they learn to appreciate.
If a child lives with fairness, they learn justice.
If a child lives with security, they learn to have faith.
If a child lives with approval, they learn to like themselves.
If a child lives with acceptance and friendship,
they learn to find love in the world.

ドロシー・ロー・ノルト

◆ 卒業生の「わが校」紹介 埼玉栄高校 2年 高見謙吾くん(志木二中 2020年卒)

こんにちは。今回は1年間埼玉栄高校に通ってみて良かった点を僕なりに紹介していきたいと思います▼僕がこの学校に入って良かったと思える点は2つあります。1つ目は部活動が強いことです。この学校は全部で67部あり、そのうち15部で全国優勝を経験しています。なぜそこまで強いのか？僕なりに考えた結果、ポイントは2つあると思

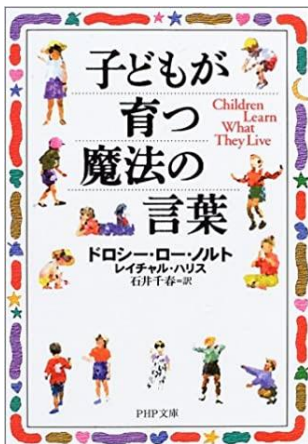
います。1つ目は設備です。全部で67部ありながら、そのすべての部が練習場をもっています。2つ目は指導者のレベルが高いことです。栄は伝統あるスポーツ校であるため、プロを経験し、現役を引退した先生たちがたくさん戻ってきます。そのような指導者のおかげで、なかには高校から始めた部活で全国大会やオリンピックにまで出られる人もいます▼良かった思える点、2つ目は自分に合ったカリキュラムを組めることです。栄は1~6時限の通常授業のほかにも0時限、7~10時限があり、さらに予備校の先生が来るので学校で予備校の授業を受けることができます。また自習室や勉強会といった勉強をしやすい環境に身をおけるのもいいポイントです。その一方で3000人以上の生徒がいるため、自分から積極的に行動しないと落ちこぼれてしまいます。そういう意味では、自主的に行動できる人、または、自主的に行動したい人にはオススメしたい高校です。



下山征広

『子どもが育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト(PHP文庫)

今回はご父母向けの本の紹介です。冒頭の詩の作者が、詩を一行ずつ取り上げ、その内容について詳しく解説をした本です。世界22ヶ国で出版され、日本でも120万部を超えるベストセラーになりました。



私たち教師も常に悩みながら子ども達を指導しています。ただ知識を教えるだけでは学力は伸びません。子ども達の姿勢を作ることが私たちの仕事の99%ではないかと思っています。私たちにとっても指導する上で、この本から教えられることがたくさんあります。以下本文の内容を引用します。

「私がこの詩で伝えたいことは、とてもシンプルです。子どもは常に、親から学んでいるということです。子どもはいつも親の姿を見えています。あしなさい、こうしなさいという親の躰の言葉よりも、親のありのままの姿の方を子どもはよく覚えています。親は、子どもにとって人生で最初に出会う最も影響力のある手本なのです。子どもは毎日

の生活の中で親の姿や生き方から良いことも悪いこともすべて吸収してしまいます。口で何かを教え込もうとしてもダメなのです。…」

※ここで紹介された本は萌学舎文庫（自習室の本棚。2週間貸出）にあります。

◆ 行事予定

□ 5/21~27 中間テスト対策週間(通常授業を1週間ストップし、中学ごとに対策授業をします。学校により期間がずれる場合があります。詳しい日程表は後日配布します)

□ 5/16,23(日) 定期テスト対策自習質問日(教師が監督し勉強に専念させます)

□ 6/20 第2回北辰テスト受験希望者は受験料4730円を5/13~29に持ってきてください。おつりの出ないようにご協力をお願いします。

【編集/加藤】